



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社 サニックス
コード番号 4651 URL <http://sanix.jp>

上場取引所 東 大 福

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宗政 伸一
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 富永 敏之

TEL 092-436-8870

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	27,402	17.1	166	△64.8	84	△80.3	△125	—
24年3月期第3四半期	23,395	6.5	471	△58.6	427	△60.4	48	△93.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △102百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 59百万円 (△91.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△2.64	—
24年3月期第3四半期	1.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	23,563	7,110	30.1
24年3月期	21,286	7,134	33.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,081百万円 24年3月期 7,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	38.3	2,600	534.3	2,480	612.7	2,100	—	44.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	48,919,396 株	24年3月期	48,919,396 株
25年3月期3Q	1,210,185 株	24年3月期	1,210,021 株
25年3月期3Q	47,709,272 株	24年3月期3Q	47,709,415 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料] P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	9
部門別連結売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の効果もあり一時的には緩やかな回復が図れたものの、徐々に回復のペースは鈍化しました。また、欧州の景気後退が鮮明になるなか、新興国の景気減速もあり企業収益の悪化懸念等、依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境の中で、当社グループは、エコビジネスのリーディングカンパニーとして、次世代エネルギーのひとつのビジネスモデルとして、クリーンエネルギーである太陽光発電システムの販売、及びプラスチックを燃料として再生利用したリサイクルエネルギー発電を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、HS（ホーム・サニテーション）事業部門は、住宅向け「太陽光発電システム」の売上が堅調に推移し、前年同期比10.8%増となりました。また、環境資源開発事業部門においては、搬入量が順調に増加したことで「プラスチック燃料収入」が大幅な増収になったことや、苫小牧発電所の安定的な稼働と売電単価が前年同期比で上昇したことにより「売電収入」も大幅な増収となり、前年同期比27.8%増となりました。その結果、グループ全体の売上高は27,402百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

利益面では、HS事業部門においては、利益率の高い「白蟻防除施工」、「床下・天井裏換気システム」の売上比率が低下したことや、平成24年7月から施行された再生可能エネルギー固定価格買取制度を受けて、当第3四半期より本格的に注力した産業用「太陽光発電システム」における先行投資的な販売促進費用が増加したことで、減益になったものの、環境資源開発事業部門においては、増収効果により大幅な増益となりました。この結果、グループ全体の損益は、166百万円の営業利益（前年同期比64.8%減）、84百万円の経常利益（前年同期比80.3%減）、125百万円の四半期純損失（前年同期は48百万円の四半期純利益）となりました。

当第3四半期連結累計期間の事業部門ごとの状況は次のとおりであります。

①HS（ホーム・サニテーション）事業部門

当第3四半期連結累計期間においては、主力商品である住宅向け「太陽光発電システム」は堅調に推移し前年同期比132.2%増となりました。しかしながら、白蟻の繁忙期における消毒依頼件数が前年同期比で減少したことや、積極的な販売を目的として営業員を太陽光発電システム販売へ配置転換したことにより「白蟻防除施工」は前年同期比33.4%減、「床下・天井裏換気システム」は前年同期比49.5%減、「基礎補修・家屋補強工事」は前年同期比60.7%減となりました。この結果、当事業部門の売上高は14,048百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

営業損益は、利益率の高い「白蟻防除施工」、「床下・天井裏換気システム」の売上比率が低下したことや、平成24年7月から施行された再生可能エネルギー固定価格買取制度を受けて、当第3四半期より本格的に注力した産業用「太陽光発電システム」における先行投資的な販売促進費用が増加したことで、930百万円の営業利益（前年同期比51.2%減）となりました。

②ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門

営業効率の向上を図るべく、ビル・マンションの不動産管理会社等の法人営業に注力し、収益性の改善を進めてまいりました。既存のビル・マンション維持管理サービス、集合住宅向け「太陽光発電システム」が好調に推移し、売上高は2,271百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

営業損益は、増収効果により49百万円の営業利益（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

③環境資源開発事業部門

「プラスチック燃料収入」は、搬入量が堅調に増加し前年同期比39.9%増となりました。「売電収入」は、株式会社サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）において、安定的連続運転の実施や、売電単価が前年同期比で上昇し、前年同期比42.2%増となりました。一方で、有機廃液の搬入量が減少したことで「有機廃液処理」は、前年同期比5.9%減となりました。この結果、当事業部門の売上高は11,082百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

営業損益は、増収効果による生産性の向上とコスト削減により、927百万円の営業利益（前年同期比472.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は23,563百万円となり、前連結会計年度末比2,277百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加によるものであります。負債合計は16,453百万円となり、同2,301百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払金の増加によるものであります。純資産合計は7,110百万円となり、同24百万円減少しました。主な要因は、四半期純損失125百万円を計上したためであります。その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末33.4%に対し、当第3四半期連結会計期間末は30.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績並びに今後の業績予想を見直したことで、平成25年3月期の通期連結業績予想数値を変更しました。

詳しくは、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	38,000	2,000	1,970	1,820	38.15円
今回修正予想 (B)	43,500	2,600	2,480	2,100	44.02円
増減額 (B - A)	5,500	600	510	280	—
増減率 (%)	14.5	30.0	25.9	15.4	—
(ご参考) 前連結会計年度実績	31,454	409	347	13	0.29円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、善日（上海）能源科技有限公司、株式会社サニックスエンジニアリングは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,365,530	2,244,202
受取手形及び売掛金	3,309,437	3,850,010
未成工事支出金	—	207,531
商品及び製品	53,187	46,002
原材料及び貯蔵品	1,713,692	2,198,319
その他	630,058	789,017
貸倒引当金	△107,831	△112,563
流動資産合計	6,964,074	9,222,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,090,183	1,943,569
機械装置及び運搬具（純額）	239,367	364,709
土地	8,979,529	8,979,529
その他（純額）	414,618	651,744
有形固定資産合計	11,723,699	11,939,552
無形固定資産		
のれん	737,377	653,372
その他	59,105	57,076
無形固定資産合計	796,482	710,448
投資その他の資産	1,802,163	1,691,430
固定資産合計	14,322,345	14,341,431
資産合計	21,286,420	23,563,951
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,386,410	2,800,798
短期借入金	2,325,000	2,515,000
未払金	2,330,436	2,632,767
未払法人税等	157,942	162,183
引当金	50,570	38,504
その他	2,130,611	2,717,291
流動負債合計	8,380,971	10,866,545
固定負債		
社債	70,000	60,000
長期借入金	3,559,741	3,107,948
退職給付引当金	1,382,781	1,406,261
役員退職慰労引当金	178,256	179,381
処分場閉鎖費用引当金	331,431	361,418
その他	248,251	471,866
固定負債合計	5,770,462	5,586,875
負債合計	14,151,433	16,453,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041,834	14,041,834
利益剰余金	△5,377,499	△5,429,608
自己株式	△1,610,767	△1,610,815
株主資本合計	7,053,567	7,001,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,772	55,209
為替換算調整勘定	—	25,185
その他の包括利益累計額合計	52,772	80,394
少数株主持分	28,647	28,725
純資産合計	7,134,986	7,110,530
負債純資産合計	21,286,420	23,563,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	23,395,785	27,402,194
売上原価	15,355,973	18,653,777
売上総利益	8,039,811	8,748,417
販売費及び一般管理費	7,568,234	8,582,261
営業利益	471,577	166,156
営業外収益		
受取利息	4,651	4,537
受取配当金	11,411	11,530
受取地代家賃	50,657	51,053
その他	26,886	34,775
営業外収益合計	93,606	101,897
営業外費用		
支払利息	128,642	123,447
為替差損	722	46,073
その他	8,255	14,291
営業外費用合計	137,620	183,813
経常利益	427,562	84,240
特別利益		
固定資産売却益	3,715	2,899
特別利益合計	3,715	2,899
特別損失		
固定資産除却損	8,113	631
リース解約損	1,458	—
減損損失	—	18,657
特別損失合計	9,571	19,289
税金等調整前四半期純利益	421,706	67,851
法人税、住民税及び事業税	159,507	181,366
法人税等調整額	214,254	12,145
法人税等合計	373,762	193,512
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	47,944	△125,660
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△446	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,391	△125,739

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	47,944	△125,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,174	2,437
為替換算調整勘定	—	21,106
その他の包括利益合計	11,174	23,544
四半期包括利益	59,119	△102,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,566	△102,195
少数株主に係る四半期包括利益	△446	78

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,677,461	2,047,483	8,670,840	23,395,785	—	23,395,785
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,677,461	2,047,483	8,670,840	23,395,785	—	23,395,785
セグメント利益又は 損失(△)	1,908,177	△262	162,043	2,069,959	△1,598,381	471,577

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用1,598,381千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,048,243	2,271,788	11,082,162	27,402,194	—	27,402,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,048,243	2,271,788	11,082,162	27,402,194	—	27,402,194
セグメント利益	930,467	49,654	927,178	1,907,301	△1,741,144	166,156

(注) 1. セグメント利益の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用1,741,144千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第2四半期連結会計期間より、産業用太陽光発電システムの販売・施工を行っている株式会社サニックスエンジニアリングは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

これに伴い、売上高はH S 事業部門が684,919千円、E S 事業部門が229,339千円、それぞれ増加し、セグメント利益はH S 事業部門が730,342千円減少し、E S 事業部門が32,088千円増加しております。

4. 補足情報

部門別連結売上高

(単位：千円)

期 別 品 目	数 量 単 位	前第3四半期 連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		当第3四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日		比 較 増 減	
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
		太陽光発電システム	kW	10,907	3,861,421	31,366	8,966,822
白蟻防除施工	千坪	528	2,953,933	355	1,966,882	△172	△987,050
床下・天井裏換気システム	—	—	1,813,448	—	914,983	—	△898,465
基礎補修・家屋補強工事	軒	2,969	1,392,635	1,196	546,839	△1,773	△845,796
その他	—	—	2,656,022	—	1,652,715	—	△1,003,306
H S 事業部門計	—	—	12,677,461	—	14,048,243	—	1,370,781
防錆機器取付施工	本	332	338,550	323	485,661	△9	147,111
建物給排水補修施工	—	—	644,111	—	567,467	—	△76,643
建物防水塗装補修施工	—	—	285,141	—	228,211	—	△56,929
太陽光発電システム	kW	719	310,727	1,518	547,384	798	236,656
その他	—	—	468,952	—	443,063	—	△25,889
E S 事業部門計	—	—	2,047,483	—	2,271,788	—	224,304
プラスチック燃料	t	265,031	4,743,955	286,122	6,637,588	21,090	1,893,633
有機廃液処理	t	89,079	1,229,309	83,835	1,157,294	△5,243	△72,014
売電収入	—	—	1,635,065	—	2,325,456	—	690,390
埋立処理	—	—	585,665	—	493,728	—	△91,937
その他	—	—	476,844	—	468,094	—	△8,749
環境資源開発事業部門計	—	—	8,670,840	—	11,082,162	—	2,411,322
売上高計	—	—	23,395,785	—	27,402,194	—	4,006,409

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。